

夢を育て、力をあわせてはばたこう！

2011年 5月 15日発行

カ ム ニ テ ィ ー

特定非営利活動法人 『翔夢』
障がい者ふれあい交流センター

翔夢Nity

NO. 39

〒547-0031
大阪市平野区平野南3-8-16
TEL (06) 6760-6167<http://www.npo-cam.jp/>e-mail: nandemosoudan@npo-cam.jp

特定非営利活動法人 翔夢 法人本部 大阪市平野区平野南3-8-16

障がい者ふれあい交流センター

大阪市平野区長吉長原2-14-15

相談支援事業

ホープネット

TEL (06) 6760-6167 FAX (06) 6760-6168

就労継続支援 (B型) 事業

ドリームネット

TEL (06) 6760-6181 FAX (06) 6760-6182

地域活動支援センター

ハートネット

TEL (06) 6760-5343 FAX (06) 6760-5344

障がい者ふれあい交流センター 第2

大阪市平野区長吉長原2-11-8

生活介護事業

ジョイネット

TEL (06) 6155-9901 FAX (06) 6155-9902

障がい者ふれあい交流センター つるみ支所

大阪市鶴見区浜4-18-7

就労継続支援 (B型) 事業

ワークネットつるみ

TEL (06) 6912-7333 FAX (06) 6912-7334

ご協力のおねがい

NPO法人「翔夢」では、アルミ缶のリサイクル活動も行っております。近隣ならばお伺いいたしますので、ご協力をお願いいたします。

ご連絡は下記へ。

ハートネット

TEL (06)

6760-5343



翔夢Nity. 39 もくじ

P1	表紙
P2	厨房より・お知らせ
P3	被災地でボランティア活動
P4	女性倶楽部
P5	こころの病気基礎講座
P6	職員紹介
P7	メンバー紹介
P8	翔夢の相談日記

表紙の写真は、ジョイネットで行われている機能訓練の風景です。

厨房からのお便り

5月に入り、まるで初夏のように暑い日が続いていますね。

暑い日が続くと、ついさっぱりした食事、水っぽいものを多くとりがちになり、身体に必要なエネルギー・栄養が不足してしまいます。

これから夏にむけ夏バテを防ぐ為にも食欲がない時は、次の事に注意して食事するように心がけましょう。

- ①口あたりがよいものにする。
- ②たんぱく質・緑黄色野菜を充分にとるようにする
- ③食物性油を上手にを使って、エネルギー不足を補う。
- ④水分補給をこまめにする。

夏向きのさっぱりとしたおかずと言えば、冷奴に食欲増進効果のある、しょうが・ねぎ等の薬味をそえる。魚の塩焼きをポン酢で食べる、お肉を梅肉やゴマドレッシングであえる。等々、旬の食材を使い、調理法も工夫してさっぱりとした献立をたて、食欲を促すことも大切です。

賛助会員入会のお願い

「翔夢」の活動をご理解いただき、賛助会員に入会をお願いいたします。

募金・賛助会費振込先

郵便振替

口座番号 00980-8-317336

口座名称 特定非営利活動法人 翔夢

三菱東京UFJ銀行 平野南口支店

口座番号 普通 4636394

口座名称 特定非営利活動法人 翔夢

被災地でボランティア活動に

参加してきました

宮城県 岩沼市へ

ゴールデンウィークを利用して、津波の押し寄せた一線として東日本大震災の被災地、宮城県岩沼市へ職員四人でボランティアに行ってきました。

越えようと、辺り一面汚泥と瓦礫に覆われているという衝撃的な光景に、全員言葉を失いました。

テレビなどでよく報道されている仙台空港より少し南に位置する、海の広がる街でした。

翌日より一人は仙台方面へ向かい、残った三人で車中泊をしながら

日本海側を通って約二十時間かけて現地に着。震災より一ヶ月という時間が経っているのが都市機能はほぼ復旧していたのです

五月四日、五日の二日間ボランティア活動に参加しました。岩沼市社会福祉協議会ボランティアで登録を行い、ア派遣依頼

と調整を行ったうえで希望された被災者宅へ必要人数が割り振られ、津波によつて流されてきた汚泥の除去や瓦礫の撤去をするという流れです。二時間というセン

ターの定めた活動時間の中で出来ることは少なかったのですが、作業後に深々と頭を下げていた被災者家族の方々の姿を非常に印象深く感じました。

(3)



活動最終日、帰阪する前に決壊した堤防付近を見てきました。

岩沼市は他市と違い、ゴールデンウィーク中も県外からのボランティアを随時募集していたのですが、指揮系統も



ボランティアの登録に並ぶ方たち

のみで全て流されてしまった家。割れてめくれ上がったアスファルト。原型をとどめないほどに壊れた車。そこは「街だった物」と「人が暮らしていた痕跡」だけが



二十代の若いボランティアが主なため、登録から割り振りまで一時間以上の待ち時間、さらに決められた活動時間があり、もっと効率よく活動したいという声も多々上がっていました。中にはテント村を作り、独自のボランティア活動を続けるグループもあるとの事でした。

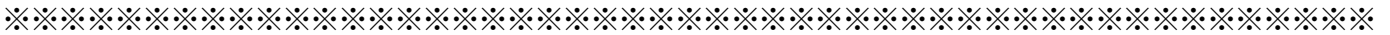
避難所では安定剤を貰って

やっと眠れるようになってきたといった声も聞く事ができました。現在が精一杯でこれからの事をまだ考えられないという方も多いそうです。

復興にはとても長い時間が掛かると思います。単純な除去撤去作業も大事なのですが、指揮系統等で、経験豊富な人材を派遣するといった支援や、被災して精神的に衰弱している方々への支援。これからはより専門的な技能や知識が必要になってくるのではないのでしょうか。

ボランティア活動を行い、被災した方々の声を聞き、継続的な支援について話し合い、考えさせられる事の多い、非常に貴重な体験をさせて頂いたと思います。

(真鍋)



女性クラブのページ



全体の約三分の一、六〇名ほどの女性が翔夢にはいらっしやいます。でも、日々通所されてるのは、若干男性の方が多めです。写真は、先日行われた花見の際に桜の下で撮った華やかな一枚となりました。

みなさんは、「つけまつ毛」をご存じですか？今、とても流行っているらしく一〇〇均ショップでも売っています、よく目にしますね。自分とは無関係！と思っていたのですが、ある日、職場である職員が突然つけまつ毛をして働いているのを見て、興味シンシンになっていきます。利用者の方で、つけている方がいて、その人にしてもらった

全体の約三分のようなのですが、印象が変わって、ちょっとしたイメージチェンになっていました。皆の評判も上々です。その後、「やっぱりめんどくさい」としていないのは残念ですが、皆さんもチャレンジ出来る方はしてみたいかがでしょうか。よく使用している利用者さんに言わせると、柔らかいのが良い！とのことです。また、今年はスカーフも流行っているようですね。お洒落しやすい季節になってきました。

(安河内)



パーソナリティーの病気基礎講座

パーソナリティー障がいとは：IV

さあ、きました。これで四回目。今回でパーソナリティー障がいは最終回となります。もう少しおつきあいしていただけたらうれしいです。

三つのグループの最後のC群に分類される不安やおびえ、引きこもりなどを特徴とするパーソナリティー障がいです。周りの人の自分に対する評価や視線などが非常にストレスになる傾向があります。

⑧回避性パーソナリティー障がい：他人からの拒絶に対して極端に敏感で、失敗したり失望させられるのを恐れて対人関係を築くとか、何か新しいことを始めることなどをためらいます。たとえば、批判を恐れて、重要な対人接触のある職業的立場（地位、役割）を避けてしまう。好かれてるとわかつ

てなければ、人と付き合うことができない。・恥をかかされること、馬鹿にされることを恐れて、たとえ相手が親密な関係でも遠慮してしまう。・いつも相手の批判、拒絶にびくびくし、少しでも批判されると落ち込んでしまう。・人間関係に必要以上

に神経過敏で気に病んでしまうためステップアップすることができない。・自信のなさ、自己評価の低さが極端である。自分は社会生活に適応できない、人間として長所がない、他人より劣っていると思っている。・恥ずかしいことになるかも知れないという理由から、新しいこと（仕事、人間関係、趣味、勉強）に取り組むことに、異常なほど引込み思案になってしま

⑨依存性パーソナリティー障がい：自分の生活全般において世話をされたいという過剰な欲求があり、そのために並はずれて従順で、とても受身的です。常に誰かがそばにいたいことを望み、ひとりになると、とたんに不安に駆られ、心がふさいで抑うつ状態に陥ります。たとえば、日常生活の瑣末なことを決めるのにも、周りからの有り余るほどの助言、保証がなければできない。・生活のほとんど

主要な領域で、他人に責任をとってもらうことを必要とする。・相手から支えてもらえなくなることを恐れて、自分の意見を言えない。・自分の判断、能力に自信がないため、自分の考えで計画を立てたり、行動することができない。・他人からほめてもらいたい、気にいってもらいために、したくないことまで進んでやってしまう。・自分自身の世話をすることができないという恐怖から、ひとりになることを嫌う。・恋愛など親密な関係が終わったとき、すぐに自分を支え世話してくれる関

係を必死に求める。・周りから見捨てられ、ほったらかしにされるという、根拠のない恐怖にとりつかれている。などが特徴にあげられます。

⑩強迫性パーソナリティー障がい：完全主義で、秩序やルールにとらわれ過ぎるため、柔軟性に欠け、開放性、効率性を犠牲にしてしまう。たとえば・規則、順序、構成、予定表、一覧表など「段取り」にとらわれすぎ、仕事や日常の行動などで本来の目的を見失ってしまう。・完全主義を目指すあまり、課題を達成できなくなってしまう。・自分の趣味や友人との付き合いを犠牲にしてまで仕事と生産性を上げることへのめり込む。・道徳、倫理、価値観について過度に誠実で良心的かつ融通がきかない。・なんの思い出し、あるいは価値のない物をなかなか捨てられない。・他人が自分のやり方に通りに従わないと、仕事を任せることができない。あるいは一緒に仕事をする

わけではないのに、他人のためにはもちろん、自分のためにもケチくさいお金の使い方をする。お金は将来の破局に備えて蓄えておくべきだと思ってる。・人格的、性格的に硬さと頑固さを示す。などが特徴にあげられます。

どうでしょうか？半分以上が当てはまれば診断される可能性があります。C群に共通しているのは不安で恐怖感の強いものだということになります。

今回で長かったパーソナリティー障がいのはきは終わりにしたいとおもいます。長い間おつきあいありがとうございました。また、会う日まで。

(三浦)



利用者の

就労をめざして

佐藤 巧

佐藤巧、三十五歳、独身。入社時は三十二歳、独身だった。

三年前、当時実家の長野県で冷蔵・冷凍倉庫に入って食肉関連の仕分け作業をしていた元福祉職の僕。地元のハローワークから電話をかけ、

西脇理事長と初めて電話で話し、「まだまだやなあ。」と『電話面接』で落ちる…。凹みながらも一度施

翔夢の職員紹介

日常の仕事や想いを書いたいただきました



設見学をしてみた、もう一度連絡を入れる。OKの返事してもらい、平野の「翔夢」に初めて踏み入れた…。数時間後西脇理事長からの「ここで働いてみたいひんか?」……?アレ、僕、電話面接で落ちたはずですが…。でもありがたいう話。お礼を言ってお世話になることになった。

「信州君」とあだ名をつけてもらい、メンバーさんや職員から受け入れてもらって感謝。居心地がいいまま現在に至っている。

あれから三年後、僕は今、平野区から中央環状線を車で走って三〇分、鶴見区にある「ワークネットつるみ」で働いている。とあるメン

バーさんから「平野から『とばされた』んちゃうの?」などと冷やかす半分で言われているが、実際は「成長したから鶴見を任せて

くれている。」と信じたいところである。

ワークネットつるみは翔夢の施設の中でも就労の色が強い施設である。メンバーさんの中にも「早く一人前になって企業で働きたい!」という夢を持つている方々が多い。

現在僕の主な仕事は施設管理者として、メンバーさんが仕事を出来て行ける為はどうしたらいいのだろう、と言う就労支援の担当をさせてもらっている。「メンバーさんにどのような支援をしたら仕事につけることができるのかな。」「作業所内で請け負う仕事などをどうしたらいいのかな。」「メンバーさんが仕事に就く前の実習先をどうしたらいいんだろう。」などと周りの職員の協力の元、考えさせてもらいながら動いている。

気づいたら三年間でこのような仕事をさせてもらおうよう

メンバー紹介

翔夢の施設を利用されているメンバーの方をご紹介します



笑顔がかわいい

松田 正芳 さん

になった。今の仕事をさせてもらっているのは、周りの職員やメンバーさんに教えてもらったり、迷惑を掛けてしまったたり、そんなことが多々

ありながら今があるんだろ。なあ。僕を取り巻く人々に感謝しながら今の仕事を邁進しないとなあ。そう考えている今日この頃である。

ワークが楽しいそうです。給食も全部食べることはむしろおいしいけど、とてもおいしくて気にいって来ています。

松田さんは午前中はジョイⅡで過ごされています。取組みでは職員の隣で言葉数は少ないですが楽しそうに過ごされています。ジョイでの取組みで楽しいのはなに？と聞くと脳トレやグループ

午後からはジョイⅡのメンバーさんと一緒に出発し、ドリームへ作業をしに行きます。ドリームの作業ではタオル折りが中心となっています。松田さんのタオル折りはアイロンがかかったみたいにとてもきれいでいつも感心させられます。他のメンバーさんに「まっちゃん、まっちゃん」と声をかけてもらったときの笑顔がとてもかわいらしいです。タオル折り以外の作業で新しい内職にも積極的に取り組んでいます。今はタオルの仕事がとても楽しいと話してくれています。ドリーム

での松田さんはゴミ集めのお手伝いをして来ています。ちゃんとできたらお手伝い表にハンコを職員さんからもらってがんばっています。

休みの日は、ガイドヘルパーさんといろんなところに行ったり、仲のいいメンバーさんの家に遊びに行ったりゲームをしたりと楽しく過ごしているようです。今は翔夢に行くのを楽しみにしておられ、他のメンバーや職員も松田さんのはにかんだ笑顔に癒されています。

無邪気な笑顔の

川越 眞治 さん



以前は来所されても「やる事がない、何もしたくな」と昼食

を終えるとすぐに帰ってしまい、いつもどこか心ここにあらざる川越眞治さんでしたが、最近では少しずつ変わってこられ、朝のラジオ体操に参加されたり、メンバーさんと一緒にトランプゲームの取組みにも参加される様になって来ました。

中でもトランプゲームは本人さんも凄く興味がある様で、普段は絶対に見せてくれない様ないろんな顔を見せてくださいます。負けた時のすごく悔しそうな顔や勝った時の満面の笑顔はまるで子供の様な無邪気な姿です。

また、最近では色んな事に興味が出てきた様で、今では夕方までいる事もしばしばあります。

トランプ以上に楽しめる取組みを見つけてその素敵な笑顔をもっとたくさん見せて下さい。
(魚谷)

翔夢の 相談日記

相談の中には中途障害の方もたくさんいらっしゃいます。肢体不自由の方、精神障害の方などです。まず来られてお話を聞くのですが、ご本人や家族の方は何から話をしていいのかも理解され

東日本大震災の被災に逢われたみなさまに、心からのお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

ていないことが多く、とりあえず障害を受けたことについて聞き始めます。ではどうしてこのようなことになるのでしょうか。例えば交通事故で突然に障害を受けられた。これが下肢に障害を受けたというものなら一般の方でもある程度対応も出来ませんが、これが高次脳機能障害の場合など、病院でも精神科領域のことは対応できず本人の精神状態が理解されないまま退院されるケースが続出しています。

退院後ご自身や家族の方で精神科のほうに受診されると、「統合失調症です」とか「精神疾患でない」とか言われ路頭に迷われる方もたくさんいらっしゃいます。これは障害が発生したときに、そのことを家族も含めて十分にケアする制度がまったく出来てなくて、すべて本人責任になってしまうのが問題です。翔夢ではそのような方に十分にお話を聞いて、まず適切な医療をご紹介し（当然本人希望があれば病院持付添います）、その結果をベースに就労指導や今後の人生設定などを行い、障害年金の申請、ヘルパーの確保、就労先の紹介、一人暮らしの支援など行っています。その上ご本人が障害を受けたこととの理解は大変シロクで、普通の対応ではだめなときもあります。そんな時に障がい者同士の関係が大きく効果を発揮します。利用者の数が多く、どんな障害をもたれて

平成23年度 NPO法人 翔夢

定期総会のご案内

下記の通り、NPO法人翔夢23年度総会を行います。みなさまのご出席をお願いいたします。

日時 6月19日（日）
午後1時～3時
場所 長原会館
谷町線・出戸駅

いても対応するには利用者の数が必要ですし、様々な機関との連携が必要です。これらの対応を障害を受けられたときにすぐにご自身で判断が出来ればすごいと思います。

人は寄りそわなくてはなりません。助け合わなくてはいいけません。何から聞いたらいいか判らなくても一度翔夢に来てください。私たちはあなたと一緒に悩むことが出来ますよ。